



Subaru

男声合唱団

ニュースNo.537

15. 12. 6

「昂」第10回コンサートに向けて！

12月4日

12月・1月は最終“強化月間！”

本番への強い思いを実現させるために！！

□12月4日(金)18:00より定例レッスンが行われました。佃さんの体操と伊藤さんのヴォイストレーニングのあと、第10回コンサートの第1部の全曲を通して、本並先生の指揮で、「春を待つ」「淀川三十石舟唄」(ソロ：立川さん)「初心のうた」を、伊藤さんの指揮で「林道人夫」「ゆらゆら春」(ソロ部：バス)「死んだ男の残したものは」を、最後に本並さんの指揮で「労働者はいいぞ」「スクラム広げて」「我爱你中国」をレッスンしました。ピアノ伴奏は森二三さん。参加者は全33名でした。



□舞台に立った気持ちで、全員立って1部の全曲を通して歌った後、本並先生より、冒頭の「春を待つ」から「きっちり音がはまっていない、揃っていない！」「歌い方が今までの練習で何回も約束した歌い方と違っている！」「怒鳴っている！」「淀川」「初心」は“めちゃめちゃ”。「林道」はソロはよい、各パートは自分の歌うパートのしっかり音を出して！ テナー最初の”ウゥーー“正しい音で鳴ってない！「おお おれたちは」のT2メロディ良し！「ゆらゆら春」もう少し！「いきなり1回で歌おうとすると、聞いておれないくらいダメ！修正して2回目で良くなる。それでは駄目！演奏会本番1回でばっちり揃えるように！」・・・間近に迫った本番に向けて、歌い手へ指揮者の厳しい注文が浴びせかけられました。

「コンサートの出だしが勝負！大事！もう1回通しだ！！」と再度



「春を待つ」から集中したレッスンが続きました。

「春を待つ」：

- ・この曲は「ことばのきれいさが表現できるかが大事！」この曲のイメージをふくらませて！
 - ・「ふんわりと ゆきのつもった やまかげからー ふゆぞらがー きれいにきれいに はれわたって いるーーー」： 情景描写して、感じをつかんで、声に響かせて！
 - ・「はれわたっている」が「は」聞こえないで、「あれわったっている」と聞こえる。慌てないでリズム・声を合わせて！ ・「ひなたぼっこする まつげのさきに ぼとーー はるのひのーゆめがーさくーー」はメルヘンの世界！声をメルヘンの世界へ誘って。「ぼとーー」音をしっかり鳴らせて！
 - ・「はるのひのーゆめがーさくーー」：「ゆ」と「め」を2つに振り分ける、「ゆー」「めー」「がー」と。「ゆ」を強く、「め」が続いて自然と出るように。「がー」鼻濁音、「さくー」の「くー」の音程しっかりと！
 - ・「しみじみとー」の「し」張り上げないで、きれいな声で「しみじみとーー」。
 - ・「みにしむけれどーーー」 rit. 「どーー」の音は気持ちが下降すると「どーー」も下がる。音保って消えるように、延ばす音の最後の瞬間が大事。
 - ・「まっしろいゆきのやまこえてーー」：「やま」怒鳴るな！あくびの声で！「てーー」頑張って延ばす！
 - ・「はるはまだとおいーー」：「はーる」の「はー」地声で出ている！きれいな「はー」を！ 最後の音が合っていない！合わせよう！！「いーー」(ラ・ミ・ド・ラ)

「淀川三十石舟唄」：この曲も怒鳴らない！大人の男の声で！

「初心のうた」

- ・「初心のうた」しっかり覚えて！出だしの「どこを通ろうと星を見上げーー」が大事。一つ一つの言葉を大事に、よく響かせて！
 - ・最初のキーワードは「ひとりひとり」「まちやくにのしくみを」「つきとめよう」「殺し屋つくり駆り立てる、国と人の仕組みを」「つきとめよう」
 - ・中音部で歌うソロのキーワード：「ひとつひとつ」「はぐるまをまきなおそう」「まちやむらではぐるまを」「まきなおそう」「かくれたかぎをさがしあて」「ゆめをうごかすはぐるまを」

「死んだ男の残したものは」

- ・1番「死んだ」の「し」は8分音符だが、長めに「し」を確認して、次の「ん」へ
26小節の「のこさ一なかった」の「さ一」は昏い感じの音で。「さ一」音広げない。
- ・2番バリトンの「しんだおんなんの一」からのメロディーは切らないで、響きを途切れなく続けて歌って！
- ・4番の「死んだへいしの一」から転調して半音上がっている。
5番の「死んだかれらの一」も転調してハ長調での「ド」から「レ」へ1音上がっている。4番も5番もピアノの音をよく聴いて、音を合わせて歌ってほしい。
- ・最後の「のこっていなーい」のユニゾンは音を響かせて。最後の「いなーいー」は全員ファルセット（裏声で）！！おなかで支えて！！

“「昴」第10回コンサートへの道” レッスン日等の確認

12月18日(金) 定例レッスン 18:00～

12月20日(日) 定例レッスン 14:00～15:30 運営委員会 11:00～ 特団レッスン 15:30～17:00
日中合同レッスン 17:00～18:30

2016年1月6日(水) 特別強化レッスン 13:00～15:00

1月15日(金) 定例レッスン 18:00～

1月17日(日) 定例レッスン 14:00～15:30 特団レッスン 15:30～17:00 新年会(興隆園)
運営委員会 11:00～

1月24日(日) 特別レッスン(特団含む) 14:00～ 通しレッスン(ゲネプロ)

1月29日(金) 定例レッスン(特団含む) 18:00～ 通しレッスン(ゲネプロ)

2016年1月30日(土) 昴第10回コンサート 9:00 いづみホール集合

(注記) 本番までのレッスン日はこれだけしかありません。12月からのレッスンでは暗譜を前提に1曲づつを完成させる必要があります。また12月・1月は通しレッスンです。一人一人が完全暗譜に向けて毎日自宅で、そして時間の合間を縫って詞を完全に覚え、自信をもって歌い上げること！また単に暗譜で音程を合わせるだけでなく、舞台に立ったイメージで、指揮者の要求する音程・響き・詞の表現を一人一人が自分の練習でも繰り返し実行することで、本番で「昴の男声のうたごえを響かせましょう！」

(連絡事項・運営委員会報告等)

1. 「橋本さんを偲ぶ会」 12月6日(日) グリーン会館 12時集合(設営) 開会:13:30

演奏曲目:「春を待つ」「白樺」「労働者はいいぞ」「昴」

服装:赤シャツ・9条バッジ・黒ズボン

2. 「うた新まつり in 大阪」 12月13日(日) 信愛女学院 9:30集合

9:50 男声レッスン(「スクラム広げて」暗譜で！)

10:27 男声舞台リハーサル

14:30 男声合同本番 服装:白カッターシャツ・黒ズボン

プログラム:素晴らしい企画が盛りだくさん！見応え聴き応えがあります。桂春団治さんと池辺晋一郎
氏の対談(春団治師匠は桂米朝さんの息子さん・“難波のモーツアルト” No.537(3/9)

オペラに詳しい！）また豊中混声合唱団・在阪の大学合唱団・ぞうれっしゃ・池辺晋一郎と歌う合唱団が「地球の9条・南極贊歌、奪われし初恋、アーメージンググレース」ETC

（親戚・知人・友人へ、団員一人2枚のチケットを渡してください。大阪を代表する合唱団「昴」のチケットが売れていません！団員の1週間の奮闘を期待します。ご協力ください！）

3. 映画「ソ満国境 15歳の夏」一藤後さんの歩み一上映 ドーンセンター

12月18日(金) 10:30 13:30 16:00 18:30 まだ見ていない団員は18日(金)の昴定例レッスンの前の上映を鑑賞してレッスンへ！

4. 新春関西華人大歌舞音楽会への出演

2016年1月6日(水) 国際交流センター 16:00 リハーサル 17:30 本番

昴独自の演奏曲目：「春を待つ」「美しく碧きドナウ」「Six Pence」

1月8日(金) 音楽会打ち上げ(招待) 大成閣

日中合同強化レッスン(臨時)：2015年12月23日(水) 10:00~12:00 ねむかホール

日本のうたごえ in 愛知

合唱発表会・審査員講評

合唱団名 男声合唱団昴

指揮 本並美德

ピアノ 近藤 静

2015.11.23

講評者	「春を待つ」	「道」	全体として	評点
田中嘉治	男声合唱特有の迫力ある演奏です。高音部でテナ一響きと音色暗くなるのが惜しい。	独唱よく奮闘されていますが(いい声ですよ) おお！音をぶつけずやわらかく深く説得力あるように。 全体に低音部は鳴っているが、テナ一がもっと鳴らしてくれると安定的なバランスに		9.0
尾高進	男声合唱らしいひびきがきかれます。パート単独のときに音程etcが不安定になるところがあるのが惜しいです。	ハモリはそれとして、フレーズの感じ(表現)がもっと出ればよくなるのでは。		8.8
小村公次	男声合唱らしい厚い響きの中にややコトバが埋没しているところが散見される。つまり多田武彦の男声コーラスの最大の聴かせどころが、ハーモニーの厚さにあり、ハーモニーの純度を高めていくとコトバもきれいに届くと思う。	同様に太い声の響きだが、発声がところどころで「声を飲み込む」ような響きになっていて、それがもう少し「前」に出る響きになるといいと思う。		8.2
神田豊	ピアノ付きの曲初めて聞きました。すごいいいですね！！ プラボー ついつい聞き入ってし	男声合唱特有のトーンがうらやましい。 ソロ付きでびっくりしました。	赤いシャツとても good!!	9.7

壽	まいました。			
酒 井 宏 枝	安定した響き・ハーモニーで男声合唱っていいなあと感動しました。「はるのひのゆめがー」もっと柔らかくできるかもしれない。最後はテナーちょっとふらついて惜しい。	男声合唱の良さが存分に出された演奏。拍手！！ダイナミックかっこいい。両ソロの方もよいお声でした。テナーの方が少しかたくてぬけきれない感もありましたが。		8. 9
宍 戸 純	伴奏つきの多田先生、とても新鮮です。	Solo の方達すてきです。プロ？	実力もさることながら味わいある歌を歌われます。男声合唱を楽しめていただきました。ありがとうございます。	8. 7
新 実 真 琴	言葉発音ていねいに もう少しピッチ高く	カット指示。力まないよう に和音の響き確かめて。	男声(男性)らしいリリズムのあるコーラスです。	8. 2

(一口レッスンメモ) (2015.5.30 6.19 レッスンより)

「なぜ？」は第10回コンサート「第2部」の後半、林光作品のひとつ、語りかけ響かせましょう！！

「なぜ？」 林光 作詞・作曲

溶けてよじれた 一升びん
あなたたちの東の間の宴のあと
とっくに底をついた このクニの台所
やっと手に入れた酒くみかわし
あなたたちは何を語りあったのか

禁じられた母のコトバを
きょうばかりはおもいきり話したか
むりやり捨てさせられたナマエで
たがいに呼びあったのか
うばわれたクニを思い
クニをとりもどすその日を夢みたか

その日は<光よみがえる祭り>
タイコとどろきカネがひびき
白い服が蝶のように
町を村を舞い踊る・・・

十日のうちにやってくる その日を待たず
あなたたちは
べつのおそろしい光に 灼(や)かれた

クニとナマエとコトバをとりもどした
あなたたちの兄弟は
だが このクニで まだ
本当の安らぎを得てはいない

溶けてよじれた 一升びんは
わたしたちにうつたえる
溶けてよじれた 一升びんは
溶けてよじれた 一升びんは
わたしたちをといつめる・・・
なぜ？

No.537(5/9)

組曲「生命の木、空へ合唱 児童合唱、ピアノのための」

作詞・作曲 林光

1. 木は空を

2. なぜ?

3. 天の火

4. 道の歌

5. 敗戦のこども

6. あらゆるものの中に

「被爆からよみがえった1本の木
溶けてよじれた数本の1升瓶
高温で焼かれて表面がガラスで覆われた瓦
制服・靴・学校鞄・手をつけられないまま炭化した弁当箱
爆死したカトリック信者たちの洗礼名が刻まれた墓石
広島と長崎の遺物・遺品がこもごも語るもののがたり」
(「BOOK」データベースより)

1987年に初演された合唱組曲

”音楽は、〈核〉にたいして物理的には無力であるが、人びとの祈りとねがいを代弁し、行動へと誘うくらいのちからはあるのだ。”(初演時の、作曲者のメッセージより)

この歌(「なぜ?」)は、広島・長崎の被爆者の遺品の中にあった溶けた一升瓶から、在日韓国・朝鮮人の人たちを思い作られた歌である。

○この曲は一つ一つの言葉を語りかけるように、丁寧な音、響く音で。強く歌うというのではなく、大事に響かせて。また詞の一つ一つにつく助詞は大きい音量で出しがちだが、横ではなく縦の声で、添えるように歌うこと。きれいな声でつながないと台無しになる。(指揮者より)

とけてよじれた いっしょびん
あなたたちのつかのまのうたげのあと
とっくに底をついた このくにのだいどころ
やっと手に入れたさけくみかわし
あなたたちは何をかたりあったのか

「とけてよじれた」：「とけて」の「け」は横に広がらないで！縦に！ 「て」は大きくならない！

「いっしょびん」：何回も出てくる言葉。「いっ」の詰まる「っ」は「い」に付けて早目に「いっ」という。

「うたげのあとーー」：「とーー」は3拍しっかりと響かせて次の「とっくに」へつなぐ。

「とっくに底をついた このくにのだいどころ」：

リズムしっかりと、

「とっくにー」：「と」をはっきりと「にー」切らないで次に繋げて、大きく歌わざしっかり No.537(6/9)
響かせて、「そこ」「このくに」「だいどころー」をはっきりと

「やっと手に入れたさけくみかわし」：

「やっと」は言いすぎないで、響かせて。「てにいれた」の「た」は添えて、切らないで次の「さけー」に続く。

「あなたたちは何をかたりあったのか」：

「なにをー」：のばして丁寧に響かせて！

「かたりあったのかーー」：「かたり」の「か」、「あった」の「あ」の2つの音の響き大切に響かせて！ 「かたり」をあまり強く言わない。「りー」で音程落ちないで！ 上向きに響かせる。

「あった」の「あっ」が強く、「た」は強く言わないで添えて。

「かーー」は4拍しっかり延ばして響かせて！（5拍目で止まる）ここはあまりクレシェンドにしないで、普通の音量で、しっかり響かせる！

(m p) 禁じられたははのことばを

きょうばかりはおもいきり話したか

むりやり捨てさせられたナマエで

たがいによびあったのか

(m f) うばわれたクニを思い
クニをとりもどすその日をゆめみたか

「禁じられたははの」からは、まだm pではじまり、「うばわれたクニを思い」でm fでクレシェンド！

まだfにならない。次の「その日は<光よみがえる>～」でfへと盛り上がっていく。

一つ一つの言葉を大事に！

「きんじられた」：“きいんじられた”としっかり響かせて！ “られた”強く歌わない！

「ははの一」：「はは」は地声はダメ！もっと素敵な“ははあ”で！「の一」は大きく入らない！

「コトバーをーー」：「バーをーー」は強くしない、「コト」が主で「バー」は添えるように！「日本語の自然な表現で！「をーー」はしっかり延ばして！

「きょうばかりはおもいきりはなしたかーー」：「きょうばかりは」は音程しっかりと保って！「きょう」と「は」は同じ音の「レ」(レードドドレミミシードドーラーラシー)「かーー」でしっかり延ばしてクレシェンドへ！

「むりやりすてさせられたなまえでー」：音程しっかり確保！「なまえでー」の「でー」の音シ(上パート)と♯ファ(下パート)。「すてさせられた」の「す」ははっきりと

「たがいによびあったのか」：「たがいにー」でクレシェンドで入っていくが、最初から大きくしないで、弱く入って、「よびあったのかー」と後ろへ行くほどクレシェンドで！

「うばわれたクニを思い クニをとりもどすその日をゆめみたか」：テンポ遅れがちだから、少し早めに歌っていこう！

「クニをとりもどす」からクレシェンド、「クニ」「とりもどす」「そのひ」ははっきりと！

「ゆめみたかー」しっかり響かせて！きれいな声で押し出すように！

その日は<光よみがえるまつり>

タイコとどろきカネがひびき

白い服が蝶のように

町を村を舞い踊る・・・

「その日は」から曲想は変わる！明るく軽快なリズム(調子)に乗って！

「祭りータイマー」：「りー」のあと八分休符無しで「タイマー」と入るくらいに遅れないで！「～舞い踊る」までリズムに乗って言葉遅れないように！

日本語の言葉の一つ一つを聴き手に伝えるように自然な響きで、はつきり出して！

助詞「その日は」の「は」、「カネが」の「が」、「白い服が」の「が」、「蝶のように」の「に」、「街を村を」の「を」は大きく歌わず、小さく添えて、

「おどるーー」でしっかりと響かせよう！「るーー」音延ばして、きれいな響きで！

「しろいふくがー ちょうのように まちをむらをまーいおどる」：音程しっかりと確保して！

ドドシシーラー#ファラー シラララー#ファーミー (上)ド#ドミ#ドーシーラ#ファ ミ#ファラ
(下)ソ#ソ#ソ#ソラー#ファーレー

(上)シーシー ラーーー

(下)ミー#ファラーー 「まーい」と「おどるー」は音程同じ「ミ#ファラ #ミファラー」

十日ののちにやってくる その日を待たず

あなたたちは べつのおそろしい光に灼(や)かれた

「とおかののちにやってくる その日を待たず」：

「とお」の「お」のときに次の「か」の音を高さとともに準備する。「とお」のほうが大きく「日」は小さく。

「のちーに」：「の」を言い直す。「にー」で音程落ちないように！（「ミソラーーララソミー」）

「やってくる」の「て」は大きく言わないで、添えるように。

「またずー」：「ま」と「ずー」は同じ高さ。「ずー」が落ちて聞こえる。（「ミソミー」）しっかりと音支えて！

しっかりと3拍延ばして

「あなたたちは べつの一おそろしい一光に一灼(や)かれたーー」：

「べつの一」を切らずに「おそろしい」へ。「の一」響かせて！

クレシェンドへ、少しずつ音量を上げて、「おそろしい」と。「お」は縦の「お」で響かせる。

「ひかりにやかれたー」：一言ずつ大事に、「ひ」「か」「り」「にー」「や」「か」「れ」「たー」
さいごの「たー」は表情のある、感情のこもった「たー」で！ ディクレシェンドへ！

3拍しっかりと延ばす。

クニとナマエとコトバをとりもどした

あなたたちのきょうだいは

だが このクニで まだ 本当のやすらぎを得てはいない

「クニ」の「ク」、「ナマエ」の「ナ」、「コトバ」の「コ」、「とりもどした」の「と」、「きょうだい」の「きょ」をはつきりと！「とりもどし」「あなた」「きょうだい」の一語一語をはつきりと！強く出さぬでなく、大事に表現する。

それぞれの言葉の添える助詞は大きく言わない。添えるように表現する。（「クニと」の「と」、「ナマエと」の「と」、「コトバを」の「を」）

「コトバをーーー」の「を」しっかりと4拍延ばして、

「きょうだいはーーー」：3拍しっかりと延ばして、最初の「きょうだい」からすぐ大きくしないで、

はーーーに入つてからクレッシェンド。

No.537(8/9)

「だが」：響かせて！「(う) だあがー」くらいに表現！

「まだ一」：響かせて！「やすらぎを」：響かせて！「やすらぎを」の「らぎを」は小さめの声で！

「えてはいない」の「え」響かせて！腹で保って

とけてよじれた いっしょびんは
わたしたちにうつたえる
とけてよじれた いっしょびんは
とけてよじれた いっしょびんは
わたしたちをといつめる… なぜ？

最初の「とけてよじれた いっしょびんは」の「はーー」しっかりと 3 拍延ばす。

「わたしたちに うつたえる」

「うっ」：大きく、「う」を大事にはっきりと！

「た」「え」「る」のそれぞれを縦に響かせて！

「る」は入り際から大きくしないで、「る」の途中からクレッシェンドへ！

「とけてよじれた いっしょびんは

とけてよじれた いっしょびんは」

2 回目の「とけてよじれたいっしょびんは」からしっかりと大きく響かせて！息の送り方は出たり入ったりでなく、声に息の圧力をずっとかけて歌うこと。

3 回目の「とけてよじれたいっしょびんは」もしっかりと歌う！強調して！「いっしょびん」から dim (ゆっくりと)。

「わたしたちをといつめる… なぜ？」

「わたしたち」の「わ」は音が低いから、しっかりとおなかで支えて声を出す。

「といつめる一」の「るーー」クレッシェンドだが「るうううう」最初の 4 拍はまだ小さく、次の 4 拍で爆発する！

「なぜ？」の前で「ウウ」(と言わないが)2 つ分入れてから、最後の「なぜ？」：問い合わせる感情が圧縮していく「なぜ？」と言う！

山本 力さん写真ギャラリー



原発が再び動かないことを祈る

先日 11 月 29 日に機会があつて福井県おおい町、高浜町に行ってきました。